

実務者を招いてのキャリア講演会（豊橋技術科学大学）

第9回構造工学セミナーin 豊橋

航空機分野における炭素繊維の適用

講師：長山和樹氏（東レ(株)ACM 技術部・主任部員）



2012年11月19日（月）

18:00～19:30

豊橋技術科学大学 講義棟 A2-301 室

聴講無料・事前申込不要

内容：炭素繊維複合材料（CFRP）とは何か、これまでの航空機の主構造材料には何が用いられ、今回CFRPを使用することがそれに対してどのようなメリットがあったのか、CFRP航空構造製作の課題が何であって、それをどう克服したか、などについて、ボーイング787への適用を事例に易しく講義していただく予定です。対象は本学大学院生・学部生ですが、一般市民の聴講も歓迎します。

長山和樹氏のご略歴：

1995年4月東レ(株)に入社。複合材料製品のCAE設計、CFRP製品の設計、開発業務担当

2004年～2006年 Toray Composite America に出向

2006年～現在 ACM 技術部航空・宇宙技術室 航空機材料開発を担当

連絡先：機械工学系 機能材料・構造システム研究室 足立忠晴（内線 6664）

建築・都市システム学系 構造工学研究室 山田聖志（内線 6849）、松本幸大（内線 6845）